



# かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 6月号  
平成24年5月31日  
横浜市立川島小学校  
校長 小池 慎一  
TEL 371-0757  
FAX 381-7248

## みんなの顔

学校長 小池 慎一

今年ことしの、K S F（川島スポーツフェスティバル）は、5月19日（土）開催かっということにちどうびかいさいで、例年れいねんよりも準備期間じゅんびきかんが1週間短しゅうかんい中での実施なかとなりました。

この1週間しゅうかんというのは、長いながようで短いみじか貴重な1週間きちようであるというのが、一般いっぱんに考かんがえられる「心配事しんぱいごと」になります。『準備期間じゅんびきかんが「1週間しゅうかんも」短みじかくて、きちんとした演技えんぎができるのか』という心配しんぱいは、職員しょくいんの中にもありました。

「開催日かいさいびをいつにするか」の議論ぎろんの中で、「早はやめに準備じゅんびを始めれば、できないことはない。」  
「もともと、K S Fの春開催はるかいさいは、学級がっきゅうづくり・学年がくねんづくりがねらいなのだから、そこにつなながる活動かつどうをしっかりやっいていこう。」そんな意見いけんが出て、「ともかく、やってみよう。やらなければ、できるかどうか分わからない。」  
「でも、やるからには、全力ぜんりょくでみんなの力ちからを合あわせて、頑がん張ばってみよう。」という雰囲気ふんいきが生まれてきて、1週間しゅうかん早はやめる結論けつろんに至いたったのです。

おそらく、先生方せんせいの中にも「今の川島いまの子どもたちなら、やればきつとできる。」という手てごたえのようなものがあつたのだらうと思おもいます。

4月がっに入はいってからの準備じゅんびは、確たしかに大変たいへんなものでした。川島小かわしましょうの職員しょくいんは、よく頑がん張ばったと、私わたくしは思おもっていますが、それ以上いじょうに、子どもたちの頑がん張ばりが大きおおかったと思おもいます。

そして当日とうじつ、好天こうてんに恵めぐまれたこともあつてか、子どもたちの演技えんぎは、すばらしいものでした。低学年ていがくねんの「ジギスカン」、中学年ちゅうがくねんの「組み体操くみたいそう」、高学年こうがくねんの「川島ソーラン」、いずれの演技えんぎも、すべての子どもたちの顔かおが、「キラリ輝かがやいて」いました。

自分たちのやるべきことをやり遂とげた、達成感たっせいかん、成就感じょうじゆかん、満足感まんぞくかんを、全身ぜんしんで表現ひょうげんしているのだと、私わたくしは思おもいました。

私わたくしが川島小かわしましょうに着任ちゃくにんしてからのこれまで6年間ねんかんのK S Fでは、閉会式へいかいしきでこんな顔かおを見せみてくれることはありましたが、演技中えんぎちゆうにこんないい顔かおを見たのは、初はじめてのような気きがするくらい、みんないい顔かおをしていました。

このK S Fでの経験けいけんは、子どもたちにとって、すばらしい財産ざいさんになると思おもっています。

「みんなで力ちからを合あわせること」「一人ひとりひとりが精一杯せいいつぱい頑がん張ばること」「その先さきには、こんなステキな結果けっかがあること」……この経験けいけんは、この先さき、子どもたちが様々さまざまな困難こんなんに出会であっても、「一生懸命いっしょうけんめい頑がん張ばれば、きつとできる。」そんな自信じしんにつなながっておもいと思っています。

くぬぎ台小学校くだいしょうがっこうの子どもたちとの、全校ぜんこうでの交流こうりゅうも順調じゆんちようにスタートしました。

今年ことしの、これからこの子どもたちの飛躍ひやくに、期待感きたいかんが高たかまった、そんなK S Fでした。